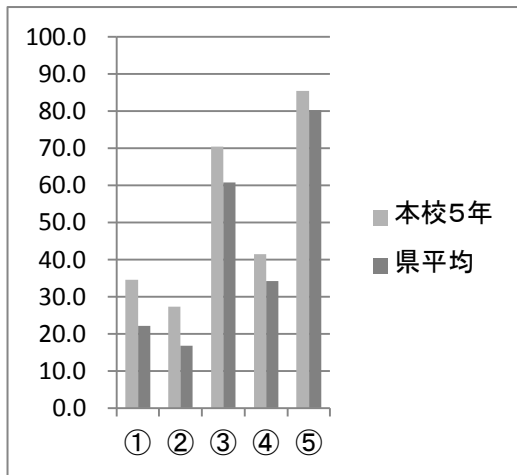


【県と比較して数値が特に高かった項目】

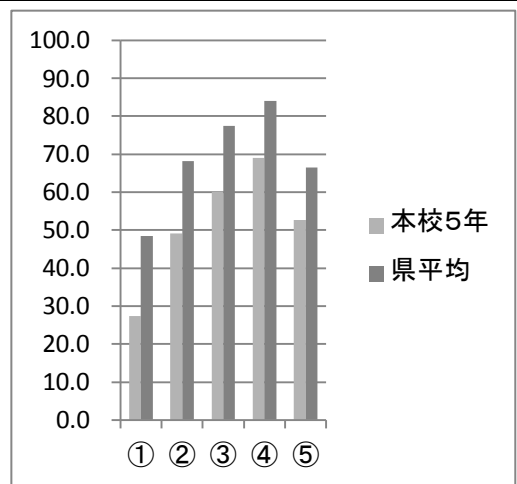
調査の項目	
①	土曜日の午前は、何をしてお過ごすことが多いですか。〔スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている。〕
②	土曜日の午後は、何をしてお過ごすことが多いですか。(家族と過ごしている)
③	テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか。
④	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか。(週1回以上)
⑤	社会の授業で、調べてわかったことや考えたことを自分でまとめ、ノートやワークシートなどに書いている。



【分析と取組】
 ○土曜日の過ごし方において、午前は主にスポーツを、午後は家族で過ごしていることが多い。しかし、勉強をしている児童数は、県よりも約20%ほど少ない。
 ○テレビを見る時間やゲームをする時間は家の人と決めている割合が、県よりも高い。しかし、2時間以上ゲームをしている児童や全くしない児童が県よりも高く、二極化の構造が見てとれる。
 ○学校図書館等の利用は県よりも多い。しかし、読書時間についても、30分以上読書をしている児童や全く読書をしていない児童が県よりも高く、二極化が見られる。
 ○特に社会科において、県よりも調べたことからわかったことや考えたことをきちんと記述していることがわかる。引き続き取り組みを進めていく。

【県と比較して数値が特に低かった項目】

調査の項目	
①	学校の授業の予習をしている。
②	算数の勉強は好きだ
③	授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思う。
④	算数の授業の内容はよく分かる。
⑤	自分で計画を立てて勉強をしている。



【分析と取組】
 ○今後は、予習的な課題についても検討を進め、取り組みにつなげていく。
 ○算数科への苦手意識が高く、興味関心意欲の向上につながっていない。教科が持つ楽しさや有用性等を理解させ、興味を持って学習に取り組むよう指導していく。具体的には、問題の解決方法を見通る場面でじっくりと時間をかけ、既習事項と結びつけながら自力解決へと移行できるように指導していく。
 ○ふりかえりの時間を確保し、授業で取り上げたキーワードや重要語句等を使った表記や次の授業につながる表記等について適宜取り上げ、適切に称賛していくことで、児童のやる気を引き出していく。

【その他、顕著であった内容】

・「将来の夢を目標をもっている」と答えている児童の割合が県よりも高い。
 ・「学校の宿題をしている」と答えている児童の割合が89.1%で、県よりも低い。宿題をしている児童ほど正答率が高いことから、宿題の徹底が必要である。
 ・「学校の授業の復習をしている」と答えている児童の割合が47.3%で、県よりも低い。復習をしている児童ほど正答率が高いことから、家庭学習の工夫が必要である。
 ・「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つ」と答えている児童の割合は県とほぼ同じ数値であるが、社会、算数、理科については県よりも低い。学んだことを普段の生活とつなげて考えてみたり、生かしたりする活動を通して、その有用感を感じ取らせたい。